

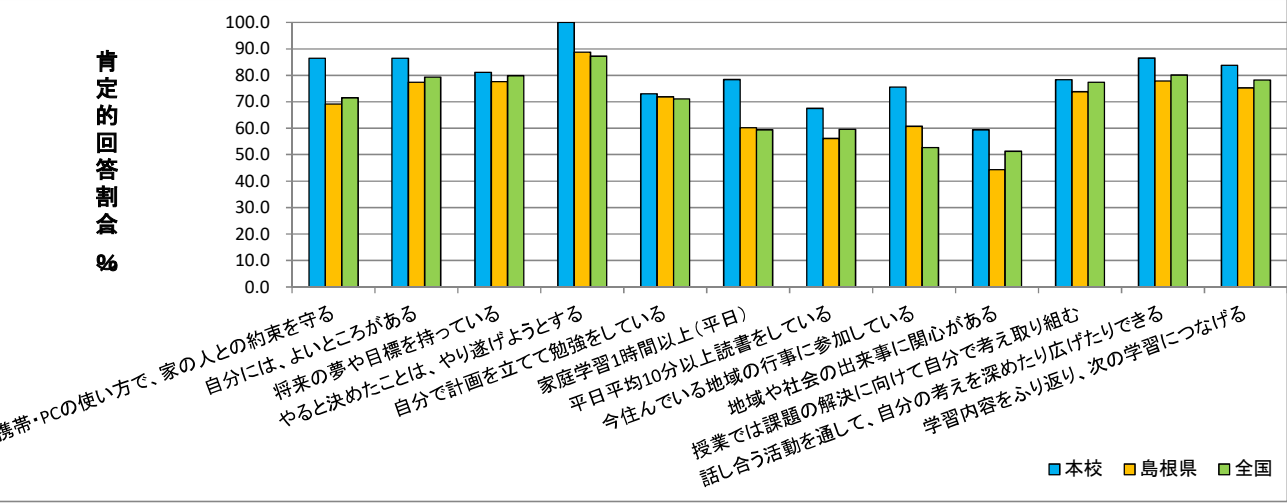
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができ、[知識・技能]について成果が上がっている。 ●登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えたり、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えたりなど、[思考・判断・表現]について課題がある。	・授業中、対話的な活動を取り入れ、さらに全体共有を図る一連の学習過程で事柄を整理し、的確に相手に伝える力を伸長する。 ・毎週1回実施する「対話スキル」を今後も継続し、伝え合うことの快さを体感させる。 ・読書習慣形成をめざし、図書館教育の一層の充実を図る。
算数	○問題の意味を理解し、自分なりの方法で求め方を説明したり、理由を記述したりすることがよくできている。 ●百分率で示された割合と基準量から、比較量を求めることや数量が変わっても割合は変わらないことといった[変化と関係]について課題がある。	・関係図や線分図などを使って数量関係を明確に捉え、解法を見出す個人思考の段階を大切に授業展開を実践する。 ・計算問題に取り組む機会(計算チャレンジ・計算大会等)を引き続き設定し、反復練習によって習熟度を高める。
理科	○実験器具の名称を理解し、正しい使い方を身に付けている。 ●実験や観察の結果を複数の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことやきまりを導き出すことにやや課題がある。	・予想→実験→結果→考察(一般化)の過程を大切に授業展開を実践する。 ・タブレットを適宜使い、一人一人がまとめ、その後に全体共有を図り、理解を深める。

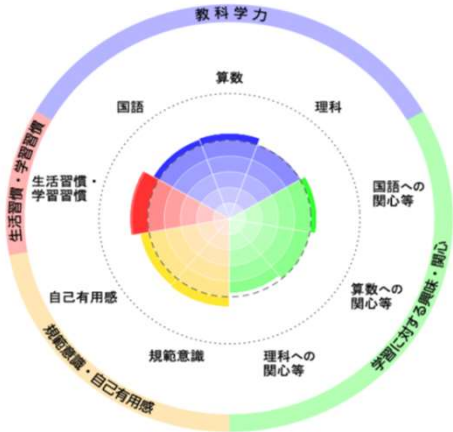
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○学力との相関が指摘されている全ての質問項目について県や全国の結果を上回っており、日々の学習指導や生活指導が一定の効果をあげている。 ○PC・タブレットなどのICT機器の活用に関する質問項目で肯定的評価の割合が非常に高い。	・コロナ禍ではあるが、今後も学校・地域との連携を図り、教育活動推進に努める。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・対話型の授業づくりの推進。
・学びを深めるためのタブレットの効果的な活用と今までの指導方法の良さを併用した授業づくりの探究。

【受検者数】

37 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。